

戦争・地震の被害を受けた

シリアに教育を届け

平和な未来をつくる。



**2011年3月から続く戦争、2023年2月の大地震が、
シリアの子ども達から教育を奪っています。**

戦争が、かつての「当たり前」を「贅沢品」にしてしまいました。教育も、平和な日常も、家族との時間も。



**戦争前は教育レベルが高く、
教育は教育大国だったシリア**

2010年の就学率が99.6%、小学校から大学まで無料で、教育レベルも高さは他国でも有名でした。世界3位の難民受け入れ国で、食料自給率は108%を超える豊かな国で、治安も日本以上に良いほどでした。



**人口の半分以上が難民・
国内避難民となっている**

10年以上続く戦争で、世界で最も多くの難民がシリアから生まれました。人口の半分以上が、空爆・戦闘・治安悪化・経済危機・子ども達への教育など様々な理由で、故郷を去ったまま、帰ることができていません。



**教育支援は後回し。子どもの
半数が教育を受けられない**

医療・食料と比べると緊急性が伝わりにくく、教育支援は不足しています。シリア北部では、給与がなくて地域から先生がいなくなって学校が閉鎖したり、校舎が地震で壊れたままで、半数が教育の機会を失っています。

**子ども達は未来。兵器ではなく教育で平和を作るために
あなたの支援で、一緒に世界の未来を変えませんか？**

「シリアをまた行きたい国にする」

それが私たち、Piece of Syriaの描くビジョンです。

「また行きたい」と聞いて、違和感を覚える方もいらっしゃるかもしれません。実は、美しい首都ダマスカスが古代都市として世界遺産になるなど、戦争前のシリアは世界30位の観光の国でした。街を歩くと、人懐っこい方々が道案内をしてくれたり、お茶やご飯をご馳走してくれたり、バスやタクシーに乗ったら「遠くからよく来てくれたね」と運賃を受け取ってくれないどころか、そのままお家に招待してくれる…。そんなエピソードは、シリアを訪れた方なら誰もが体験する「よくある話」で、多くの旅人を魅了しました。私自身も、そんな温かなシリアを大好きになった一人です。

しかし、2011年からシリアで始まった戦争は今も終わることなく続いています。私が住んだことがあるシリアの村は一時期、テロリストに占領されて、何度も訪れた小学校の校庭が処刑場になりました。「何かしなくては」と、まずは現状を知るために、シリアの人たちが多く住む中東・欧州10カ国を周りしました。すると「僕の夢は家族でご飯を食べること。少し前までは当たり前のことなんだけど、今では叶わない夢だよ」「あんな平和なシリアで戦争が起こるんだから、世界のどこでも起きてもおかしくない」「難民がiPhoneを持ってるわけじゃないんだ。iPhoneを持ってる人が難民になったんだよ」…彼らの言葉から、平和は決して当たり前のものじゃないことに気付かされました。

戦争は日常を、そして経済活動を破壊し、多くのシリアの人達が困窮しています。しかしそれでも「子ども達は未来だ。教育が大切なんだ」と話します。私たちはその声に寄り添い、自分たちの力で未来の平和をつくり、復興するための土台のために、教育という希望を届けています。そして、皆さんと一緒に支援した子ども達が実現した平和なシリアに、一緒に遊びに行ける未来を作ります。そんな未来を一緒に描く仲間になっていただけませんか？

NPO法人Piece of Syria 代表理事

中野貴行

【メディア実績】 ニュースウィーク日本版特集「世界が尊敬する日本人100」/NHK/
読売新聞/朝日新聞/テレビ朝日/関西テレビ/テレビ大阪/岩崎書店/J-WAVE ほか多数



2023年度 成果

戦争に加えて地震の被害を受けたシリアで教育を継続していけるように、現地のニーズに合わせた柔軟な活動を行ないます。戦争+地震で、特に子ども達のトラウマケアの重要性が高まっており、専門家によるケアや、保護者・先生向けに「子ども達の異変」に気づき、どのような対処をするかについて学ぶワークショップを実施しています。

地震被害の校舎の修復
3校 (生徒 約500人)



心のケアセンター設立
1000名



教育の機会の提供
約4.5万人



企業の皆さまからのご支援事例

- ・ オーダーメイドでの新規支援事業の立ち上げ
- ・ 社員様向けの活動報告会
- ・ 同友会など講演機会のご提供

私たちは今まで「校舎の修復」「心のケアセンターの立ち上げ」「(ラマダン時期の)食糧支援」など、ご寄付をいただく企業のご担当者の方と打ち合わせをして、現地で必要とされながらも、予算の問題で実施できていない事業を立ち上げました。

オンラインにて事前の打ち合わせから、社員の皆様向けの活動の報告会、企業ロゴの入った看板の設置(100万円〜)のほか、講演の機会をご提供いただくことも私たちの大きな応援になります。ぜひ、一緒にできることを模索するために、まずはお問い合わせいただけますと幸いです。



<企業助成金実績>

- ・ Panasonic様
- ・ LUSH様
- ・ フェリシモ様

ほか



講演実績：市民の伊勢志摩サミット 2016、みんなの市民サミット2023、滋賀県中小企業家同友会様、大阪府中小企業家同友会・日中経済交流研究会様、神戸ライオンズクラブ様、宗像ロータリークラブ様 ほか

私たちもPiece of Syriaを応援しています。



私達は微力であるが、無力ではないという信念に共感

海外の市場のお蔭で暮らせていただいております、何かできることはないかと思っていました。日本だけが幸せということは、もう不可能です。全てが繋がっています。私の会社も小さな町工場ですが、社員と共にシリアやトルコのことを身近に考え、世界との繋がりを持つ努力をしています。多くの日本の方が世界との繋がりを持ち、助け合いの気持ちを共有できることを願っています。

DOKURO JAPAN (日本精機株式会社) 代表取締役 高橋 祐子さん

ポジティブな支援が未来につながる

人々の暖かさや美しい景色・文化といったシリアの魅力を語る中野さんの笑顔に魅かれたことが、わたしが支援を始めたきっかけでした。シリアについてほとんど知らなかったわたしですが、イベントの参加やスタッフ・支援者との対話を通して、楽しみながらシリアのことを学んでいます。活動報告でシリアの子供たちが楽しく学んでいる様子を見て、笑顔から生まれたポジティブな支援が明るい未来に繋がっていくことを実感しています。

合同会社サブマリン コミュニティ支援事業リーダー



富久 泰志さん

皆さまからの支援でできること



教育支援

10万円で
35人に教育を

避難生活で収入が安定していない家庭を対象に、シリアの子ども35人分に筆記用具・教科書・バッグ等を提供し、教育を受ける環境を届けられます。



先生支援

50万円で
先生の家族2世帯を

政府や国連から支援が届きにくい地域では、先生たちが無給になることも。先生2人の1年間の給与を届け、家族を守りながら先生を続けることができます。



心のケア

100万円で
心のケアセンター維持

戦争や地震被害によるトラウマを抱えた子ども達や保護者のための心のケアセンターの運営費4ヶ月分を届け、自殺を防ぎ、教育に集中できる環境を守ります。

ご支援方法（5分で完了できます）

①とにかく全力で応援したい！

単発や継続的なご寄付、クレジットカードや銀行振込など、様々な方法でご寄付いただけます。私たちが責任を持って、支援活動に活用をさせていただきます。企業・法人としてご支援いただく場合は、代表者様のお名前を記入後、「法人のご担当様」欄にチェックをし、会社名などをご記載ください。また、個人でのご寄付も大歓迎です。月3000円のご寄付で、シリアの子ども1人が教育を受けられるようになります。



② 税制優遇措置のあるご寄付

寄付決済サイト「Give One」でのご利用により、寄付金控除等の税制優遇措置の対象となります。税控除を受ける方法や金額は「Give one 税控除」で検索し、ご確認をお願いいたします。一部、手数料が取られるため、①より私たちのもとに届く金額が少し減ってしまいます。



③ オーダーメイドの支援・講演のご希望

御社ならではの支援に向けてのご相談、講演のご依頼など、何か一緒にできることをご相談いただける場合は、是非一度、ご相談させていただきませんか？①・②のご不明点につきましても、こちらからご連絡ください。

